

チャイルドラインうえだ

平成22年度

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

年次報告

救われた、と思うとき、
人は誰かと話している。



つらい状況のなかで、耳を傾けてくれる誰かがいる。
ただそれだけで、踏切った気持ちが楽で、一人ではないと感じられます。
悩みを抱えた子どもたちから、なごむら、そうした存在を求めているはず。
チャイルドラインは、子どもたちの声に大人が耳を傾ける、無料の電話サービス。
毎日700件、年間24万件以上の相談が寄せられるNPO法人です。
気持ちを聞き止め、一緒に考えることで、
子どもたちが帰る場所になれるよう応援しています。

子どもの声に、
耳をすます電話
チャイルドライン®
☎0120-88-7777 (月～土 18:00～21:00)
<http://www.chUdLine.or.jp>

3000円の寄付から運営しているだけですが一歩を踏み出しています。(※問合せ先)02-5512-1888 認定NPO法人チャイルドライン支援センター

チャイルドラインうえだ運営委員会

平成 22 年度 事業報告

1. チャイルドラインうえだ運営

(1)毎週水曜日午後 4 時から 9 時まで・奇数週木曜日午後 4 時から 6 時 30 分まで、子どもからの電話を受付。

(2)第 5 期「受け手養成講座」開講。

18 歳未満の子どもからの電話を受ける「受け手」を養成することを目的として実施。

平成 22 年 5 月 8 日から 7 月 15 日まで、全 12 回の講座を開設。

(3)「受け手」：第 5 期受け手養成講座終了後、新しい受け手 7 名を選任。受け手のスキルアップを図るため、継続研修会を年 6 回（奇数月）実施。

(4)「支え手」：受け手養成講座の受講、および継続研修を受講した。

(5)運営委員会：3 回開催。

2. チャイルドライン事務所運営：事務局担当者 3 名を置き、日々の業務に従事。

3. 広報活動

(1)チャイルドライン事業を広く周知を図ることにより、行政や地域の方々に理解と支援をしてもらうため、リーフレット（年次報告）を作成・配布。

(2)養成講座を開催するにあたり記者発表。

4. 長野県チャイルドライン推進協議会の事業に参加

総会、運営委員会、事務局会議、合同研修会に参加。県内の小・中・高校・特別支援学校を通じて配布するカードの仕分け配送業務に協力（カード年 2 回・27 万 6 千枚）。

5. チャイルドライン支援センターの事業に参加

全国ネットワーク会議、エリア研修会、実務担当者会議、研修担当者会議に出席。

6. 財政・渉外：企業訪問・他団体との交流（講演会・研修会への参加）

第 5 期受け手養成講座 講師一覧

喜多 明人 氏	子ども権利条約ネットワーク代表	小林 文子氏	前、常田保育園園長
中島 直美 氏	マザーポート・ITながの理事長	松田 恵子氏	登校拒否を考える親と子の会代表
橋詰 邦男 氏	元、長野中央児童相談所所長	兼重 尚子 氏	(財)生涯学習開発財団認定コーチ
夏目 宏明 氏	精神保健福祉士	吉田 アイ子氏	小諸東小学校養護教諭
山崎 敏生 氏	小諸高原病院 副院長	松崎 礼子 氏	チャイルドラインうえだ研修委員長

平成 22 年度 収支決算（単位：千円、千円未満切捨て）

◇収 入 1869	(内 訳) 受講費 105、寄付金 144、助成金 99、補助金(県費)1,260、 会費 109、その他 77、繰越金 74
◇支 出 1,861	(内 訳) 人件費 1,109、報償費 173、旅費 73、需用費 154、役務費 169、使用 料 85、負担金 27、その他 70

平成22年度 集計より (抜粋)

1.電話受付件数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会話成立	127	128	140	132	95	135	120	109	141	125	133	142	1,527
その他	168	225	207	192	176	229	206	251	197	209	204	249	2,513
合計	295	353	347	324	271	364	326	360	338	334	337	391	4,040

2.年齢別相談件数(会話成立件数中)

年齢	未就学	小学生 (学年不明)	小学生 (低学年)	小学生 (中学年)	小学生 (高学年)	中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
件数	5	63	46	46	147	300	724	196	1,527
割合(%)	0.3	4.1	3.0	3.0	9.6	19.6	47.4	12.8	100.0

3.内容別相談件数

相談内容	未就学	小学生 (不明)	小学生 (低)	小学生 (中)	小学生 (高)	中学生	中卒～ 18歳	不明	合計	割合(%)
人間関係		26	12	17	46	64	88	23	276	18.1
いじめ	1	12	8	9	34	32	27	9	132	8.6
不登校・ひきこもり			1		2	8	3	2	16	1.0
学業・成績		1	1	1	3	16	6	1	29	1.9
進路・将来・生き方					2	10	23	2	37	2.4
部活・クラブ		3		1	5	10	15	4	38	2.5
体罰			1		2		1	4	8	0.5
塾・習い事		1	1		2	3	2		9	0.6
性格・容姿	1	1				6	16	12	36	2.4
恋愛・異性関係				3	6	16	60	7	92	6.0
虐待					1	8	19	1	29	1.9
病気・健康				1	3	9	23	8	44	2.9
心の不安					3	15	51	16	85	5.6
自殺・自傷					1	7	12	4	24	1.6
非行・問題行動		1	1	1		2	13	3	21	1.4
薬物						1			1	0.1
犯罪・暴力					1	1	4		6	0.4
ウェブサイト関係							2	1	3	0.2
性・思春期の体の変化	2	1		2	18	51	216	43	333	21.8
セックステレホン						1	9	7	17	1.1
雑談・話し相手	1	16	19	11	17	36	127	45	272	17.8
その他		1	2		1	4	5	2	15	1.0
不明							2	2	4	0.3
合計	5	63	46	46	147	300	724	196	1,527	100.0

今年度、ご支援いただいた方々を紹介させていただきます。(順不同)

賛助会員

今井正昭様 今井喜代子様 浅倉孝子様 松崎礼子様 小林彰様 西沢和子様 樋口光代様 上原登美子様 増田茂
美様 山崎俊海様 竹花千江子様 上田エンジニアリング様 八十二証券様 中村彰様

寄付

橋詰邦男様 山崎敏生様 今井正昭様 今井喜代子様 松崎礼子様 増田由喜子様 運営委員会一同 匿名4名
この場を借りて、御礼申し上げます。

こどもの声を聴き、社会に伝えて行く！

チャイルドラインうえだを支援してください。

チャイルドラインうえだは平成17年6月から準備を始め、平成18年2月に運営委員会を正式に立ち上げ、同年4月から9月まで受け手養成講座を開講、同年10月から毎週水曜日の午後4時より9時まで、研修を受けたボランティアが電話受付をスタートしました。平成20年5月からは、全国統一フリーダイヤル化が実現しています。

22年度は、5月から7月まで第5期受け手養成講座を開講すると共に、受け手・支え手の継続研修を積極的に行い、毎週水曜日・隔週木曜日多くの子どもたちの心の声を聴いております。

身近に聞いてくれる人がいない時、周りの誰にも言えない話をしたい時、そんな時いつでもかけてきて何でも話して欲しい…、そして私たちはそれらに耳を傾けることによって、一人でも多くの子どもたちの気持ちを受け止めたい…、と願って活動しています。

子どもたちの生の声に向き合う『チャイルドラインうえだ』を支援して下さい。

お寄せいただく会費は、チャイルドラインうえだの活動運営資金として役立てさせていただき、年次報告をお送りいたします。

チャイルドラインうえだ運営委員会
委員長 小林 彰
運営委員一同

チャイルドラインは18歳までの子ども専用電話です。イギリスで始まりました。

日本では現在、43都道府県で71団体が実施している市民活動です。(2011年3月現在)

チャイルドラインうえだ 会員会費のご案内

賛助会員年会費 個人：一口 千円 ・ 団体 法人：一口 5千円
カード協賛： 一口 3万円 (ご希望の場合、協賛社名をカードに掲載します)

郵便払込口座をご利用ください。 ② 払込手数料のご負担は各自お願い申し上げます。
口座番号：00550-4-95513 加入者名：チャイルドラインうえだ

お問い合わせ・連絡先

チャイルドラインうえだ運営委員会 事務局

事務局直通電話：090-3565-7086 直通FAX：0268-25-2755

事務局Eメール：cl-ueda@bd.wakwak.com

ホームページ：http://park14.wakwak.com/~cl-ueda/

(事務局運営) NPO シャイン；〒386-0153 上田市岩下502番地

「チャイルドラインうえだ」は、長野県、長野県教育委員会、上田市、上田市教育委員会、長野県医師会、長野県弁護士会の後援を得て活動、運営しています。